

第 61 回 建築士会全国大会 埼玉大会 開催報告書

行 事 名 称	平成 30 年度 全国大会「埼玉大会」 青年委員会 セッション地域実践活動アワード報告	会 場	大宮ソニックシティ ビル棟 市民ホール 401～403 会議室
開 催 日 時	平成 30 年 10 月 25 日 10:00～12:00	報 告 者	日本建築士会連合会青年委員会 伊藤 憲吾
開 催 趣 旨	各地の活動を発表することでの会員相互の研 鑽。 表彰制度を設けることでの活動の奨励。 同時に各地の災害情報を発表することでの問題 共有化。	内 容	各ブロックの発表は地域に根差した活動が発表さ れた。多くの来場者に情報共有がなされ、投票も多 くの方に参加いただいた。最優秀、優秀賞は式典で 表彰された。 新たに「連合青年委員会賞」を設け、投票の数的有 利によらない審査も行った。 西日本、阪神、北海道の各地の災害情報を発表して いただいた。

報 告 事 項	◇ 趣旨に対する成果 各地の発表はどれも地域性に富んだものであり、参加した方に興味深く聞いていただけたように感じた。投票にも多くの方が参加していただき、より深く知っていただくことにつながったように思う。投票審査結果は下記の通り。 ■最優秀賞：長野県（関東甲信越ブロック） ■優秀賞：熊本県（九州ブロック） ■連合会青年委員会賞：熊本県（九州ブロック） また、同時開催で行った災害状況報告も多くの参加者が耳を傾けた。報道だけでは得られない情報や建築士ならではの災害の受け止め方も見受けられ、今後の建築士会としての連携に良い課題を与えたと思う。
	◇課題・検討事項 より多くの方に地域の活動を共有することを目的としている取り組みであり、成果を上げているものと考えてはいるが、発表後の発展が見受けられないように感じる。表彰結果の会員への周知活動や、良い活動の継続状況を知る仕組み、地域同士の複合化した取り組みへの発展、そういった交流こそがセッションと呼ぶにふさわしいのではないかと思われる。 企画においては、目標を定め、運営の安定化を図り、広報の在り方を整理しつつ、今後の連合会役員の引継ぎを円滑に行う必要性を感じている。発展的な変化が必要と感じる。
参加者数：有効投票数票 244 票	

開催状況

